

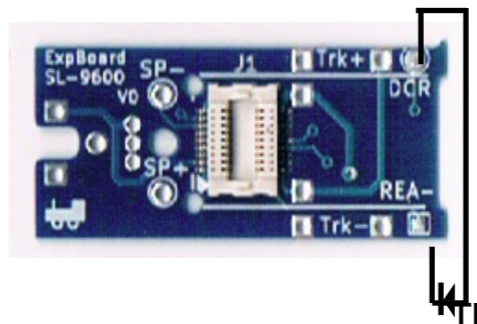
ExpBoard(N)は、ESU社 Loksound5-Microや、nagodenMP3サウンドデコーダなどのNEXT18規格を採用したDCCデコーダを、Nゲージにすっきり取り付けるためのアイテムです。SLシリーズは、これまで配線加工が困難だったNゲージSLに搭載するための便利なアイテムとして開発しました。



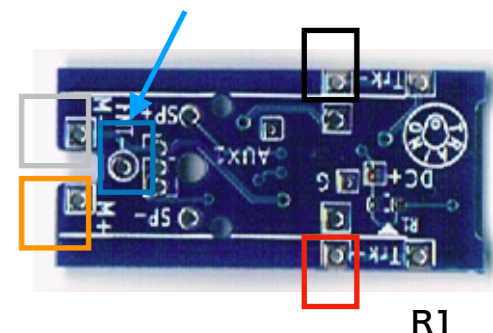
SL-9600

SL-9600は、ボディにネジ止めしてすべて下側から配線を行います。

上面
<=前



下面
<=前



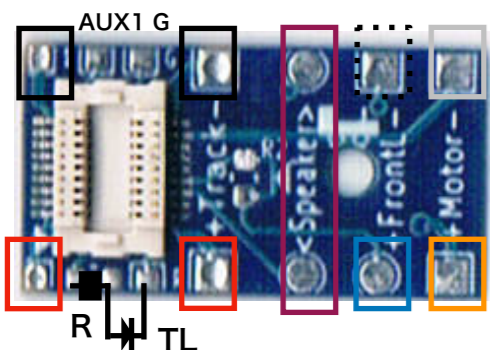
R1

1. 国内モデル用(SL-C57/D51、SL-C59/C62、SL-C58、SL-9600)

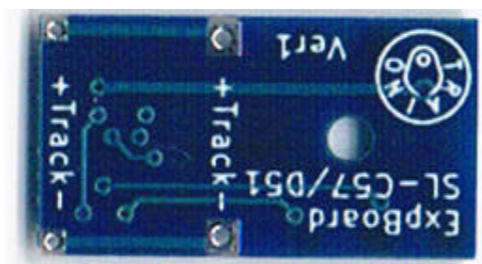
● プリント基板

KATO製SLに搭載するための製品です。小型でありながら、配線のしやすさを追求しているため、NゲージSL以外にもお使いいただけます。SL-C57/D51とSL-C59/C62はExpBoardとピーカーの位置関係が異なりますが、機種を限定するものではありません。

SL-C57/D51

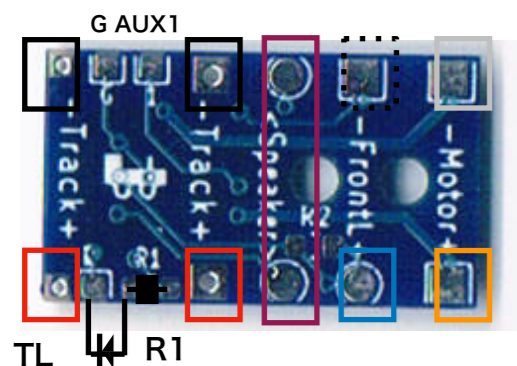


上面
前=>

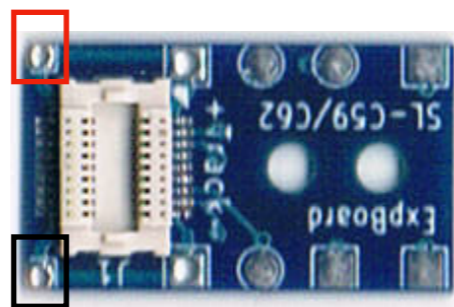


下面
前=>

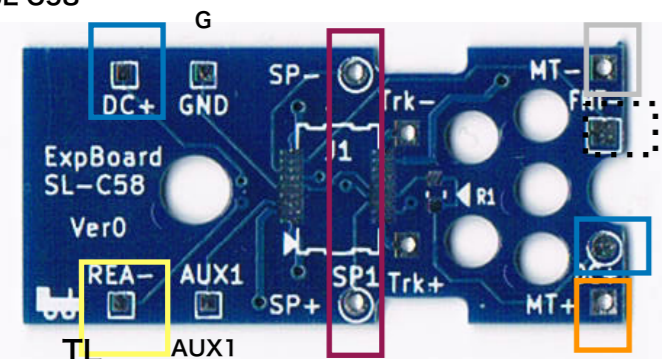
SL-C59/C62



上面
前=>

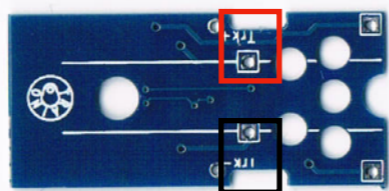


SL-C58



上面
前=>

下面
前=>



2 配線方法

端子名称	マーク色	NEXT18ピンアサイン	備考
Track+/-	赤、黒	1,18/9,10	どちらかの端子で、レールにつなげてください
Motor+/-	橙、灰色	2/11	モーターにつなげてください
FrontL+/-	白	8/6,15	ヘッドライトにつなげてください。 SL-C57/D51では、▶部のパターンをカットしてR2にLEDの抵抗をつけることができます。
Speaker</>	茶色	16/7	スピーカーにつなげてください
Rもしくは REA-	黄色	17	テールライトにつなげてください。隣の抵抗パッド(シルクが隠れていますがR1です)からDC+(DCR)を取り出すこともできます。
I(AUX1)	—	3	室内灯などに接続します。通常オープンコレクタ出力となります。
G(GND)	—	5,14	通常未使用です。

SL-C58については、デコーダの実装方向の都合から、デフォルト設定では前進と後退が逆向きになっています。CV29のビット0を1に変更して、前進・後退の向きを合わせてください。

※ 海外車両向け (SL-S3/6) は最終ページに移動しました。

注意事項：

<https://desktopstation.net/wiki/doku.php/expboardecn>を参照願います。

何か商品にお気づきの点がございましたら、

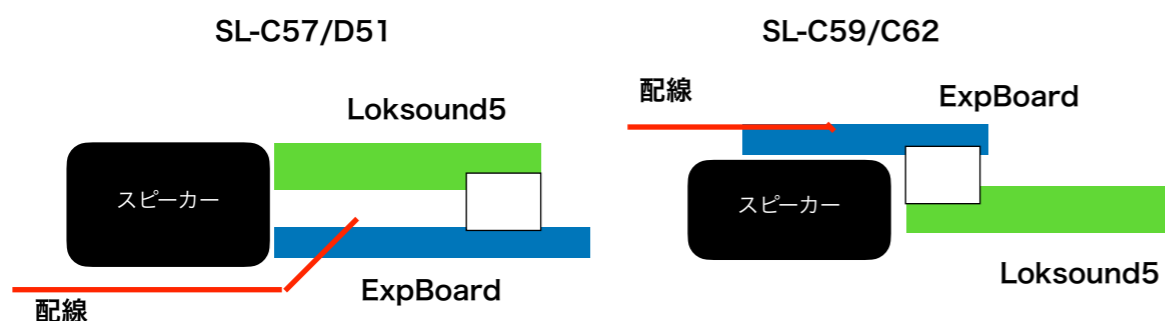
traino@desktopstation.net にご連絡をお願いします。 2020-9-28 改番4

3 KATO製品への対応表

製品の構造上、利用可能な組み合わせをまとめました。なお、テンダーの形状（石炭のしきりの位置や補助機器の取り付け状態）によっては、加工が大掛かりになったりデコーダーが入りきらない場合があります。

車種	補足	ExpBoard	備考
8620	2020年新製品	SL-C57/D51	
9600	KATO製品のみ	SL-9600	
C11	リニューアル品、旧製品	現在対応していません	
C12	リニューアル品	現在対応していません	
C56	リニューアル品	(現在正式には対応していません)	SL-C57/D51と小型スピーカーを使って搭載されたお客様がいらっしゃいます。
C57	リニューアル品	SL-C57/D51 SL-C59/C62	双方とも使えますが、SL-C59/C62の方が改造は少なめです。
C58		SL-C58	
C59	リニューアル品	SL-C57/D51 SL-C59/C62	双方とも使えますが、SL-C59/C62の方が改造は少なめです。
C62	リニューアル品	SL-C57/D51 SL-C59/C62	双方とも使えますが、SL-C59/C62の方が改造は少なめです。
D51	リニューアル品	SL-C57/D51 SL-C59/C62	双方とも使えますが、SL-C59/C62の方が改造は少なめです。
D51	旧製品	SL-C58	テンダー形状から利用可能だと思いますが、未確認です。
その他	マイクロエース製品	SL-C58	テンダー集電構造が似ているため、利用できる場合があります。サイズを確認してください。

● SL-C57/D51とSL-C59/C62の違いについて

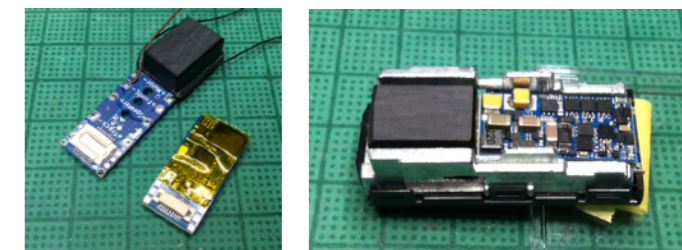


この2つの製品は開発の経緯から品名をつけましたが、多くの車両では相互に利用することが可能です。SL-C57/D51の方がスピーカーのエンクロージャが高くとれるので音質重視の方にオススメです。一方SL-C59/C62では全長が1mmほど短いためダイキャスト部品の加工や配線が楽になるでしょう。

4.車両搭載例

SL-C57/D51 (基板は改良前のものです)

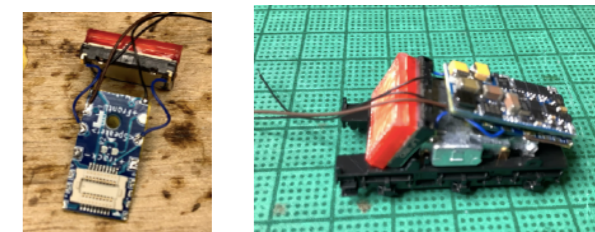
<https://traino-info.blogspot.com/2020/04/expboardkato-c57-dcc1.html>



参考：KATO製SL（リニューアル品）のテンダーは、MRC製デコーダ・スピーカーに合わせた設計ですので、アルミダイキャストウエイトの切削加工などが必要です。

8620の搭載例

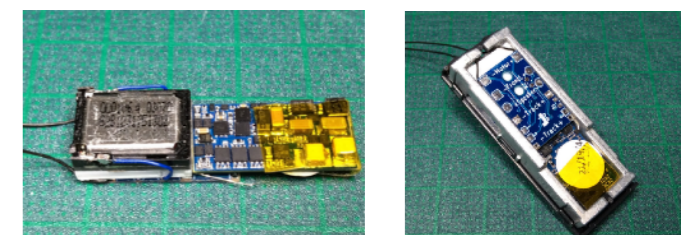
<https://traino-info.blogspot.com/2020/08/kato-8620dcc.html>



参考：アルミダイキャスト切削加工が多めです。

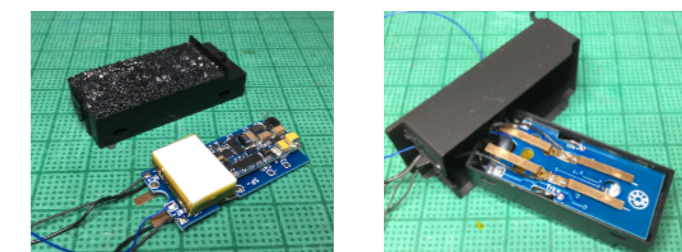
SL-C59/C62

<https://traino-info.blogspot.com/2020/05/expboardkato-c59-dcc.html>



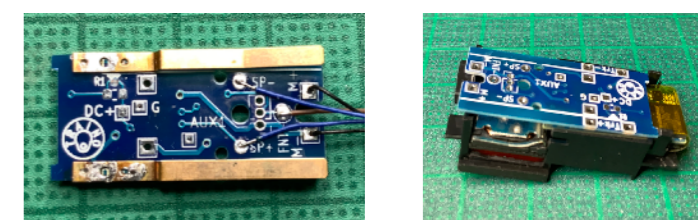
SL-C58

<https://traino-info.blogspot.com/2020/07/expboardkato-c58-dcc.html>

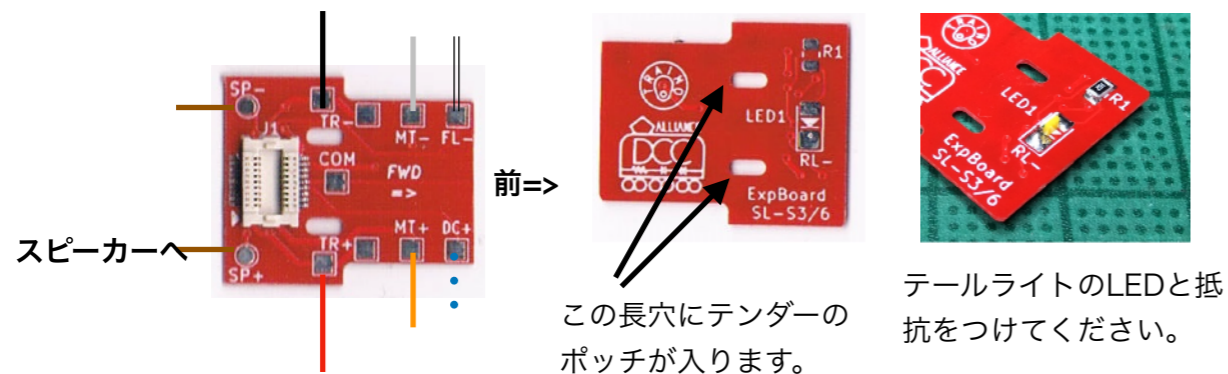


SL-9600

<https://traino-info.blogspot.com/2020/07/expboardkato-c58-dcc.html>



SL-S3/6は、Minitrix製 S3/6 (BR18) のDCCサウンド化に利用するExpBoardです。
 テンダーの構造と配線のしやすさを考えた形状です。テールライト機能も準備しています。



●配線方法

端子名称	マーク色	NEXT18アサイン	備考
TR+/TR-	赤/黒	1,18/9,10	レールにつなげてください。 端子は2箇所あります。
MT+/MT-	橙/灰色	2/11	モーターにつなげてください。
FL-/DC+	白/青	8/6,15	FL-をヘッドライトにつなげてください。 DC+は普通接続不要です。
SP+/SP-	茶色	6/17	スピーカーにつなげてください。
LED1,R1	(黄色)	テールライト回路(17)	基板端を向くようにLEDを取り付けてください。
COM	—	5,14	通常未使用です。

<ブランク>

●取り付け方法

製品の標準基板を撤去し、本基板にマーク色にしたがって再配線してください（NEM651対応製品の場合）。テンダーボディ脱着時に基板がスライドするので、固定しないでください。

